

## 環境ラベル

<p><b>概要</b></p>	<p>環境ラベルとは、製品やサービスの環境側面についての、検証可能で正確で誤解を招かないような情報のコミュニケーションを通じて、より環境に負荷を与えないよう製品やサービスへの欲求を増加させ、これによって市場原理による継続的環境改善の可能性を高めることを目的とした情報開示の手段である。</p> <p>最近施行されたグリーン購入法は環境に優しい製品・サービスの情報提供を要求しているためその情報開示手段としてのラベル制度の必要性が急増している。</p>
<p><b>最新情報</b></p>	<p>1．国際標準</p> <p>環境ラベルの国際規格 ISO14020s は、次のような構成になっている。</p> <p>ISO14020 環境ラベル：一般原則</p> <p>ISO14021 環境ラベル：自己宣言による環境主張 用語と定義、シンボル、試験検証方法（タイプ ）</p> <p>ISO14024 環境ラベル：第3者検証による原則と実施方法（タイプ ）</p> <p>ISO14025 環境ラベル：環境情報表示（タイプ ）</p> <p>2．わが国のラベル制度</p> <p>エコマーク制度（日本環境協会運営）</p> <p>この制度は、環境省の指導のもとに実施しているものであるが、法令に基づかない自主的なラベル制度である。そして、国際規格 ISO14024 のタイプ に対応するわが国唯一のものであるが、現在認定商品数で約 5300 が認定登録されている。</p> <p>エコリーフ環境ラベル制度（産業環境管理協会運営）</p> <p>国際規格 ISO14025 のタイプ に対応するもので製品・サービスの定量的環境情報を表示するもので 2002 年 4 月にスタートした制度である。そしてこの環境情報は ISO14040s のライフサイクルアセスメント手法で算出されるものである。</p>
<p><b>当センターの活動</b></p>	<p>2002 年 4 月にスタートしたエコリーフラベルは、環境情報の算出基準が高度なライフサイクルアセスメント手法によるために特定の審査員による認定と登録の制度となっている。</p> <p>すなわち環境情報に関する企業のシステム認定審査員と製品環境データの信頼性を検証する製品環境データ検証員の登録制度が施行されており、当センターとしては、製品環境データ検証員として中小企業のエコラベル取得の支援活動を行うことになる。</p> <p>また、この環境情報は ISO14020s のライフサイクルアセスメント手法により算出されるためライフサイクルアセスメント手法そのものの導入を希望する中小企業への支援活動が可能である。</p>